
琉生が疲れてる

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

琉生が疲れてる

【Nコード】

N8461N

【作者名】

ごほんライズ

【あらすじ】

活動報告を読んだら、琉生が疲れてるようだ。人間関係のもつれであるか???

活動報告を見ると、琉生が疲れてる。人間関係だろうか。確かに日本社会、陰湿で残虐で実に疲れる。

一般に日本人ちゆうのは「逃げるな。立ち向かえ」というノリが好きである。かくいうわしも好きである。日本人だから。

しかし、歳をとり少し考えが変わってきた。「死なない」という条件つきやな。

戦争中はちよつと違うわけよ。特攻隊とかそういうこともせにやらん。死ぬに値することがある。国家を守るとか、愛する人を守るとか。しかし、この平和社会。死ぬに値することがない。会社を守るだとパンチが弱いし、愛する人などいない。どいつもこいつもアホばかりで愛せない。よつて、そんなやつのために死ぬぬ。

琉生のことはちよつと好きだけどアホだから愛するまで行かない。ゆえに琉生のためには死ねない。琉生が山でハイキングの途中、落とし穴にはまり猟師に捕獲されてとか、そういう場合は別だ。命をかけてチームを編成し救出に行くかもしれん。が、しかし、それは倫理とか道德の問題で、次元の異なる話だ。

逃げないと死ぬと判断した場合は逃げれば良いと思う。逃げるのは悪いことじゃない。例えば、琉生が明日までに漢字1000ページやって来ないと金属バットでむちやくちやに叩いてぶち殺すと先生に言われた場合、そんなの真面目にやり始めれば自殺するし、翌日学校に行き金属バットで叩かれ殺されるのがわかってるのであれば、山奥の温泉街に逃げれば良いと思う。豪華な料理と最高の温泉を楽しめば良いと思う。バットで叩かれてる場合じゃない。

けど、逆に、逃げれば死ぬという場合がある。社会人など逃げれば収入ゼロになって餓死するので、そういう場合は逃げられない。立ち向かわないといけない。逃げれば飢え死にするわけである。死ぬ

より立ち向かって戦う方がいいわけである。

まあ、社会人でも過労自殺するちゅうのがあるから逃げるのも時に大事である。

まあ、琉生でも、例えば、いやなやつがいて学校に行きたくなくて逃げたいと思っても、不登校になると愛する彼氏に会えない。彼氏に会えないとさびしくてさびしくて自殺する。

と思えば立ち向かう方がいいかもしれない。立ち向かうのは勇気がいるし疲れるけど、自殺するよりはいい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8461n/>

琉生が疲れてる

2010年10月10日08時11分発行